

国立国語研究所学術情報リポジトリ

地域差と場面差(表現法編)：
熊本県球磨川沿岸地域における

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 亮一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002983

4. 地域差と場面差（表現法編）

— 熊本県球磨川沿岸地域における —

言語変化研究部 第一研究室長 佐藤 亮 一

言語変化研究部第一研究室では、「日本語地図」についての検証調査の一環として、1972年と1975年の2回にわたって、熊本県八代市から同県人吉市にかけての球磨川沿岸地域を中心に、地域差と場面差に関する調査を行った。目標は、各地点における、もっともくだけた表現からもっともあらたまった表現にいたる各段階の表現が、それぞれどのような地域差を持ちながら多層的に存在・交錯しているかを明らかにするところにある。

第1回の調査では、動植物・身体・生活に関する名詞を中心に項目を選び、球磨川沿いの約60か所のはぼ全集落で各1名の老年層の話者を対象として、それぞれの項目ごとに、くつろいだ場面からあらたまった場面までの5場面についての使用言語を調査した。（調査者：徳川、本堂、高田、佐藤）。

第2回の調査では、依頼・勧誘その他の文表現を中心として、前回とほぼ同じ地域から12地点を採り、各地点平均5名の老年層の話者を選んで、各項目ごとに6場面についての表現をたずねた。（調査者：徳川、真田、江川、白沢、佐藤）。

第1回の調査については、日本方言研究会第19回研究発表会（1974年11月）に於いて結果の概要を報告した。ここでは第2回の調査についての中間報告を行う。

調査結果の1例(項目:おまえはきのうどこに行ったか)

地点・話者:人吉市中神町大柿・1908年生れ,男(口5)

- | | | | | |
|------------------|----------------|------|-----|------------|
| A) 妻に | ヌシャ- | キニュー | ドケー | イッタヤー |
| B) 親類の若い人に | オマヤー
(ヌシャ-) | キニュー | ドケー | イッタヤー |
| C) 友達にていねいに | オマヤー | キニュー | ドケー | イッタナ |
| D) 同じ村の目上の人に | オマヤー | キノ- | ドケー | イッタナ |
| E) 熊本から来たセールスマンに | アントワ | キノ- | ドコニ | オイデンナリマシタカ |
| F) 東京から来た初対面の人に | アントワ | キノ- | ドコニ | オイデニナリマシタカ |

(質問順序 A→F→C→E→B→D)

「おまえはきのうどこに行ったか」における「おまえ」部分の分布

		A	B	C	D	E	F			A	B	C	D	E	F
イ	1	▲	▲		○	○	○	ト	1	㊦	○	○	◎	◎	◎
	2				◎	◎	◎		2				◎	◎	◎
	3	▲			◎	●	●		3	▲	▲	▲	○	○	○
	4				○	●	●		4			○	○	○	○
	5								4			○	○	○	○
ロ	1	▲					●	チ	1	▲	▲	○	○●	●	●
	2				○	○	●		2	○	○	○	○●	●	●
	3	▲		●	●	●	●		3	▲	▲	○	○●	●	●
	4	▲	▲						4	▲	○	▲	○	○	○
	5	▲	▲			○	○		5	▲	▲	○	○	●	●
ハ	1			●	●	●	●	リ	1	㊦			○	○	○
	2				●				2	▲	▲	○	●	●	●
	3				◎	●	●		3	㊦		○	○	○	●
	4				◎	●	●		4				●	●	●
ニ	1	㊦			●	●	●	ヌ	1	㊦	○		○	○	○
	2	▲		○	◎	◎	◎		2		○	○	●	●	●
	3	㊦	㊦			◎	◎		3	▲	▲	○	○	○	◎
	4				○	○	◎		4		+	●	●	●	●
ホ	1	㊦				○	○	ル	1	▲	▲	▲	●	●	●
	2				○	●	●		2	▲	▲	▲	◎	◎	◎
	3				○	●	●		3	▲	▲	▲	●	◎	◎
	4				○	○	◎		4	▲	▲	▲	○	●	●
ヘ	1					○	○	ヲ	1	▲	○	㊦	◎	◎	◎
	2				○	●	●		2				◎	◎	◎
	3				○	●	●		3	▲	㊦	㊦	◎	◎	◎
	4				○	◎	◎		4	▲	㊦	㊦	◎	◎	◎
	5	○	○	○	◎	◎	◎		5	▲	㊦	㊦	◎	◎	◎
	6				◎	◎	◎		6	▲	㊦	○	◎	◎	◎
	7	○	○	○	○	○	◎		7	㊦	㊦	㊦	○	○	○

㊦ フレ、ワガ ○ アンタ + キミ
 ▲ スシ ◎ アータ N 該当部分なし
 ㊦ ヤド ● アナタ
 | オマエ ◎ オタク

イ～ヲ 地点略号（番号は話者番号）

A～F 場面略号